

福祉・介護

情報収集シート 療養支援アセスメントシート



2025年3月

厚生労働行政推進調査事業費補助金（エイズ対策政策研究事業）
非加熱血液凝固因子製剤によるHIV感染血友病等患者の
長期療養体制の構築に関する患者参加型研究

研究代表者 藤谷 順子（国立研究開発法人国立国際医療研究センター病院）
研究分担者 大金 美和（国立研究開発法人国立国際医療研究センター病院ACC）
研究協力者 大杉 福子（国立研究開発法人国立国際医療研究センター病院ACC）

※情報収集シートのA～Fは裏面の療養支援
アセスメントシートA～Fに対応する情報です。

記入日： 年 月 日

記入者：

I D ふりがな 患者氏名		男・女	生年月日	年 月 日 (歳)	原告 ☐ 東京 ☐ 大阪
---------------------	--	-----	------	-------------	---

A 家族背景	家族構成図 キーパーソン：	続 柄	年 齢	備考
			歳	
			歳	
			歳	
	※家族の居住地（市区町村）を記入 ※同居者を○で囲む		歳	
	家族歴（該当する続柄を記入） ☐ 脳血管疾患（ ） ☐ 循環器疾患（ ） ☐ 悪性新生物（ ） ☐ HIV 感染者（ ） ☐ 血液凝固異常症（ ） ☐ その他（ ） ☐ 確定保因者（ ） ☐ 推定保因者（ ） ☐ 保因者健診歴あり（続柄： ）			
	HIV 感染を知っている人（ ） 血友病を知っている人（ ） 病名を伝え信頼を置く理解者（ ）			
B 経済状況と各種手当	【経済状況】 ☐ 大変苦しい ☐ やや苦しい ☐ 普通 ☐ ややゆとりがある ☐ 大変ゆとりがある 【収 入】 ☐ 本人の月間収入（ 円 / 月） 内訳 ☐ 給与 ☐ 手当 ☐ 年金 ☐ 生活保護 ☐ その他工面（ ☐ 親から ☐ 家族から ☐ 貯蓄 ☐ 和解金 【支 出】 ☐ 本人の月間支出（ 円 / 月） 内訳 ☐ 家賃： ☐ 入居施設利用費： ☐ 他（ ）			備考
	【年金関連】 ☐ 取得あり ☐ 血液・造血器・その他の障害（HIV 含む・含まない） ☐ 肢体の障害（ ） ☐ 他（ ） ☐ 障害基礎年金（ ☐ 1 級 ☐ 2 級） ☐ 障害厚生年金（ ☐ 1 級 ☐ 2 級 ☐ 3 級 ☐ 障害手当金） ☐ 老齢年金（ ☐ 基礎 ☐ 厚生） 【障害関連】 ☐ 特別障害者手当 ☐ 心身障害者福祉手当 ☐ 他（ ） 【PMDA関連】 *HIV ☐ 健康管理支援事業（AIDS 発症） ☐ CD4 数 ≤ 200 ☐ 調査研究事業（未発症） ☐ CD4 数 > 200 *HCV: 先天性の傷病治療による C 型肝炎患者に 係る QOL 向上等のための調査研究事業 ☐ 申請済み ☐ 未申請 ☐ 該当なし			
C 生活歴	居住地：（ ）都道府県（ ）市区町村 居住形態（ ☐ 自宅 ☐ 施設：（ ）			備考
	【就 労】 ☐ 職歴（現在職種： 以前： ） ☐ 無職 雇用形態： ☐ 正規 ☐ 派遣・契約 ☐ パート・アルバイト ☐ 自営 ☐ その他 雇 用 枠： ☐ 一般 ☐ 障害			
	【最終学歴】 ☐ 中学 ☐ 高校 ☐ 短大 ☐ 大学 ☐ 大学院 ☐ 専門学校 ☐ その他（ ）			
	【結 婚 歴】 ☐ 未婚 ☐ 既婚 ☐ 再婚 ☐ 離婚 ☐ 死別 ☐ 内縁			
	【趣 味】 室内 ☐ ☐ 室外 ☐ ☐			
	【社会参加】 ☐ 積極的に参加している ☐ 参加したいが難しい ☐ 参加したくない （理由： ） 【患 者 会】 ☐ 参加（名称： ） ☐ 参加していない ☐ 参加歴あり（ 年前） 【原告としての活動】 ☐ 有（活動内容： ） ☐ 無 【患者支援団体からのお知らせや郵送物受取り】 ☐ 社会福祉法人はばたき福祉事業団 ☐ NPO 法人ネットワーク医療と人権＜MARS＞ ☐ その他（ ） ☐ 無 【その他】 ☐ 他者との談義 ☐ 趣味の共有 ☐ ボランティア ☐ 祭りイベント ☐ 宗教（ ） ☐ その他			

	患者目標	課 題	解 決 策
A	家族歴より、リスク要因を把握し予防行動がとれる	☐ 家族歴が不明 ☐ 家族歴がある ☐ リスク要因がある ☐ 保因者への対応が不十分	☐ 家族の既往歴からリスク要因を把握する ☐ リスク因子を考慮し、セルフケアに努める ☐ 家族背景を把握する ☐ 保因者の健診に関する相談ができる
	家族等から療養生活の支援を受けることができる	☐ HIVを知り本人に寄り添い相談できる家族等の不在 ☐ 血友病を知り本人に寄り添い相談できる家族等の不在 ☐ 病気について知り信頼の置ける理解者が不在	☐ 理解者、支援者の必要性を検討する ☐ 病気について打ち明けるメリットデメリットを整理する ☐ 病名を打ち明ける対象者を選定する ☐ 病名を打ち明けた家族等の病気や治療に関する知識の修得
B	経済的な不安がない	☐ 安定した収入源がない ☐ 支出の見直しが必要である	☐ 生活の見通しを立て、適切な収支に努める
	恒久対策を最大限活用する	☐ 恒久対策として受けるべき手当を申請していない ☐ 申請したが適用されない	☐ 該当する手当を全て申請し、受給する
C	身体的・心理的に負担なく就労できる	☐ 就労は身体的・心理的に負担があり困難	☐ 心身共に過剰に負担のかからない職業の検討 ☐ 関節負担を軽減する活動方法や装具の調整 ☐ 整形外科による関節評価やリハビリによる日常生活指導を受ける
	就労を通じて社会参加できる	☐ 就労意欲はあるが、就労できない ☐ 就労できる心身の状態にあるが、就労意欲がない	☐ ハローワーク（障害者雇用枠）の情報を得る ☐ 就労支援プログラム等で就労意欲を喚起 ☐ 学歴、職歴、結婚歴、趣味などの情報から興味のある職業を検討する
	社会参加により人とのつながりを持つ	☐ 社会参加の機会がない ☐ 社会参加に消極的である ☐ 引きこもりがちな生活である	☐ 患者支援団体の活動への参加 ☐ 学歴、職歴、結婚歴、趣味などを生かした社会参加のきっかけを検討する ☐ カウンセリングによる、思いの表出
D	現状において困っていることを解決し負担なく生活することができる	☐ 身体面の問題がある	☐ 日常生活上の問題を整理、要介護度を評価する
		☐ 心理面の問題がある	☐ 精神科受診やカウンセリングによる思いの表出 ☐ 信頼しているサポーターの存在を確認し、支援を得る
		☐ 経済面の問題がある	☐ MSWと面談し問題の整理と支援を検討
		☐ 生活面の問題がある	☐ 適切な制度や支援サービスを調整する
		☐ 通院困難、負担がある	☐ 通院先の検討、生活圏の検討、サービスの給付を確認
		☐ 本人の生活に影響する家族の問題がある ☐ 生活に張り合いを見いだせない	☐ 本人の生活に影響する家族の問題を整理する ☐ コーディネーターナースや心理士と面談し自身の思いを整理する
E	頼りになる介護者がいる	☐ 本人を介護する支援者の不在 ☐ 家族を介護する支援者の不在	☐ 医療スタッフを通じて地域スタッフに相談する ☐ 本人・家族等の介護度の把握と支援検討 ☐ 緊急時の対応について確認 ☐ 本人・家族等の支援体制を整理する
	福祉、介護と連携し身体的、心理的に負担なく、良好な療養環境で生活できる	☐ 本人のみならず、家族背景も考慮した、療養環境調整の不足 ☐ 同世帯で制度の違うサービスを利用する際の各担当部署との調整不足	☐ 本人、家族等の長期療養に関する意向を整理する ☐ 障害福祉・介護における連携調整のもと支援を検討する ☐ 制度の狭間にある問題を整理し支援を受ける
	社会資源を有効活用し、良好な療養環境で生活できる	☐ 医療負担が生じている ☐ 障害者手帳、福祉サービスの未申請 ☐ 現在の状態に即した制度の見直し ☐ 要介護認定の未申請 ☐ 現在の状態に即した介護度の見直し	☐ 医療費助成制度の利用範囲の確認 ☐ 制度のメリットデメリットを考慮し取得の手続きをする ☐ 障害福祉サービスの情報収集 ☐ 障害の等級数や障害程度区分の見直しをする ☐ 要介護認定の利用を検討し申請する ☐ MSWを通じて居住地の担当ケアマネと連携し、必要なサービスを検討する ☐ 継続的に支援実施の評価とケアプランを見直す
F	在宅で必要なサービスを受けることができる	☐ 訪問の必要性を感じていない又は拒否 ☐ 訪問の利用方法や内容が不明 ☐ 在宅サービス利用に関する本人と家族等の意向があわない ☐ 緊急時の連絡先がわからない	☐ A～Eで問題を整理し必要なサービスを検討する ☐ 在宅サービスの情報収集 ☐ 在宅サービスの利用について家族等と検討する ☐ 緊急時の医療機関の連絡先を確認する ☐ 在宅サービスの利用を評価する

お問い合わせ

※このシートの活用方法や、このシートでヒアリングした症例の相談対応など、下記の各管轄のブロック拠点病院、又はACC宛にお問い合わせ下さい。

医療機関名	HIV コーディネーターナース	連絡先
北海道大学病院	渡部 恵子、熊谷 泰恵	TEL: 011-706-7025 HIV 相談室
独立行政法人国立病院機構仙台医療センター	佐々木晃子、鈴木佳奈子	TEL: 022-293-1111 感染症内科（内科5）
新潟大学医学部総合病院	新保明日香、知久 熙眞	TEL: 025-227-0841 感染管理部
石川県立中央病院	石井 智美、車 陽子	TEL: 076-237-8211 免疫感染症科
独立行政法人国立病院機構名古屋医療センター	羽柴知恵子	TEL: 052-951-1111 感染症科
独立行政法人国立病院機構大阪医療センター	東 政美	TEL: 06-6942-1331 HIV 地域医療支援室
広島大学病院	坂本 涼子	TEL: 082-257-5351 エイズ医療対策室
独立行政法人国立病院機構九州医療センター	長與由紀子、犬丸 真司	TEL: 092-852-0700 AIDS/ HIV 総合治療センター
国立研究開発法人国立国際医療研究センター病院※ エイズ治療・研究開発センター（ACC）	杉野 祐子、鈴木ひとみ	TEL: 03-5273-5418 ACC ケア支援室